

見て、知って、思わず教えたいくなるプチ情報誌

NISSAY

The

INFO

なるほど!
ザ・インフォ

6

JUN
2010

和傘の雅びな世界に触れる。

ここ数年の「和ものブーム」の中、和傘に人気が高まっているとか。
梅雨のシーズンを迎え、傘の別の表情「和傘の世界」をクローズアップします。

イマドキ和傘事情

今、密かなブーム！ 「蛇の目風洋傘」が人気！

傘を支える骨は全部で16本あり、通常の傘より本数が多いので、傘全体をしっかりと保持。タフな骨組みが激しい風雨にも対応してくれるのが魅力。美しい真円を描いた曲線が優雅な雰囲気です。日常使いからフォーマルシーンまで多彩に活用します。

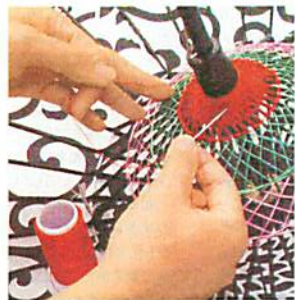
※右ページ左端下・写真「蛇の目風高級洋傘」参照

和傘づくりが体験できる！

もっと和傘を知りたい人におすすめなのが、昔ながらの工法が見られる工房見学や実際に和傘づくりが楽しめる「ミニ和傘づくり体験」です。詳しくは、お問い合わせを。

日吉屋
<http://www.wagasa.com/>

和傘三分類
*野点傘…主に日よけのための大傘。茶道やディスプレイなどに使われます。
*雨傘…番傘、蛇の目(じやのめ)傘、羽二重(はぶたえ)傘など、防水しており、雨の日に使用します。
*舞傘/日傘…小ぶりの和傘。舞踊や踊りに使ったり、日傘として使用します。(UV加工が施されたものもあります)



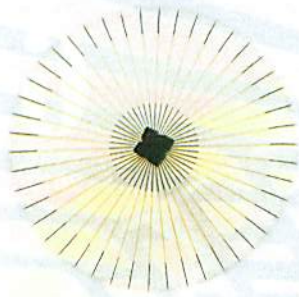
京和傘は長い歴史を持ち、都ならではの厳しい審美眼を持った人々に使用されてきたが、その美意識を培ってきたと言われています。京和傘の特徴は、最高級の素材と、過度な装飾を一切排除したシンプルで上品なデザイン。高い技術なくしては作れない京和傘として発展してきました。特に茶道で使う野点傘に、京和傘の代表的なものがあります。今なお、伝統的な工法で作られ、その素材となるのは竹、和紙、糸、木、漆、塗料、油、金具など。洋傘が通常ビニールやポリエステルといった人工素材であるのに対し、和傘は自然素材を中心にしています。

和傘は歌舞伎や日本舞踊、茶道の中でも取り入れられ、それぞれの伝統美を融合しながら独自の進化を遂げてきました。現在の和傘の用途は、多岐にわたっています。趣味の品として、踊りや芝居などの小道具として、伝統行事・儀式・茶道などの道具として、広告・ディスプレイ・展示用として、また日本的な土産品として…様々な用途に使われています。和傘は和の空間を演出する小道具として効果的なため、イベントなどで活躍。式典に貸し出されるレンタル和傘も人気があります。

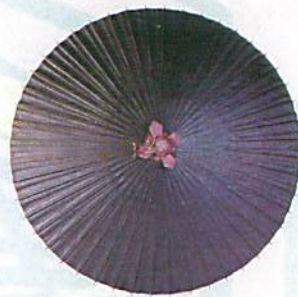
古都の高い美意識に育まれた「京和傘」

和の空間演出の必需品

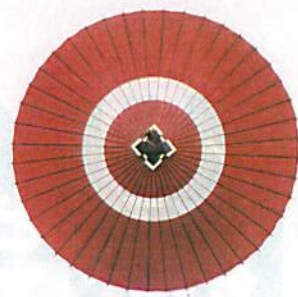
和傘の「いろは」を知ろう



番傘 / ばんがさ



特選番傘 / とくせんばんがさ



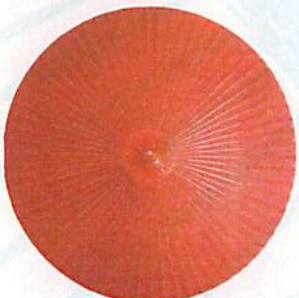
蛇の目傘(中入) / じやのめがさ(なかいり)



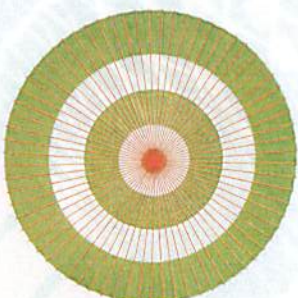
てんでん日傘

日本の伝統工芸、 「京和傘」の魅力に迫る。

日本の伝統的な工法と材質で作られた和傘。平安時代前後、仏教やお茶・漢字などと同時に中国より伝来したと言われています。とりわけ、京都は都として長らく栄えた土地柄、最も早くから和傘が使われ「京和傘」として、人々に愛されてきました。



雙折野点傘 / つまおれのだてがさ



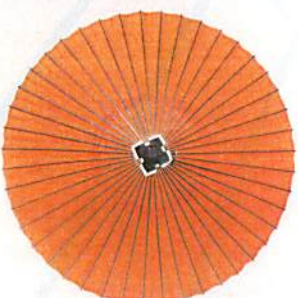
本式野点傘(段透) / ほんしきのだてがさ(だんぱり)



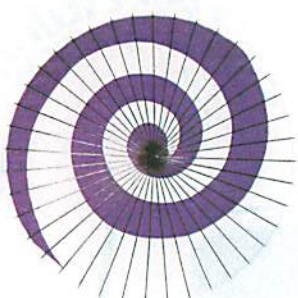
舞傘(涙天型) / まいがさ(まんてんざくら)



蛇の目風高級洋傘



羽二重傘 / はぶたえがさ



舞傘(うず巻) / まいがさ(うずまき)



番傘と蛇の目傘の違いは何ですか？

番傘は素竹の良さをいかしたシンプルで少し太身の和傘。蛇の目傘は糸脚りなどが施されている美しい細身の和傘。



羽二重傘とはどんな傘ですか？

羽二重は蛇の目傘の一種です。和紙と薄い絹を重ね合わせた羽二重生地を張った蛇の目傘を羽二重と呼びます。羽二重は通常の和紙より格段に丈夫で長持ちし、色もより鮮やかです。



気になるお値段はいくらぐらいですか？

種類によって異なりますが、1万円前後〜4万円ぐらいが主流です。どこで買えますか？



全国的に見ても、和傘製造業者は激減しており、10〜20軒程度しか残っており、残念なことに京都でも京和傘を作っているのはたった1軒となりまして、今は、インターネットでも購入できます。



オーダーメイドもできますか？

名前を入れたり、好みの生地を使用したり、サイズも変更したり…と自分だけの和傘が作れます。



どんなシーンに持てば良いのでしょうか？

和服の時だけでなく、洋服の普段着に持っても素敵です。例えば、雨の日、シーズンズやカジュアルなファッションに番傘。晴れた日は、てんでん日傘※などを装いのアクセントにすると、和モダンな雰囲気でもっともお洒落です。



使用する時に注意することはありますか？

傘を開く時は、傘の頭を下に向け軽く左右に回し、傘が少し開いたら中の口クロを持って開きます。無理に力を加えずゆっくりと開いてください。和傘は頭を上にして壁に立てかけるか、上部の紐で吊るしてください。洋傘の様に傘立てに逆さに立てないように、中に水が溜まり破損の原因になります。

※「てんでん日傘」は、和傘の伝統的な工法を守り、手ぬぐいの生地や手ぬぐいの生地、傘の骨の裏側に用いた日傘のことも、ぬぐい生地や手ぬぐい生地を素材にしています。



WAGASA OLD STORY

和傘昔話

和傘の歴史と由来



武士が傘張りの内職をしていた!?

平安時代の絵巻物に登場する和傘は現在のような形ではなく、天がいや覆い状のような物でした。用途も雨具ではなく、貴人に差しかけて日除けや魔除け、権威の象徴として使用されていたそうです。鎌倉時代になっても、まだ傘は開いたままで閉じることができませんでした。和傘が開閉できるようになったのは安土桃山時代です。一般に普及したのは江戸時代中期以降のことでした。

また、映画や時代劇には、浪人が傘張りの内職をしている場面がよく出てきますが、江戸時代の中期以降、藩の財政が苦しくなってきた時、実際に一部の武士たちが傘を作り内職をして、藩政を助けたという資料も残っているようです。



こうして長い歴史の中で様々な改良が繰り返され、伝統文化や伝統芸能と結びつき、日本古来の美意識を持った工芸品として進化していきました。

まるでカラクリのような傘

和傘をから傘(唐傘)とも呼び、中国の唐(から)の傘に由来するという説もありますが、現在有力とされているのは別の説のようです。それまで開きっぱなしであった傘が、まるでカラクリのように自在に開閉できる様子に人々が「まるでカラクリのような傘」と言って驚いたということ。それが縮まって「からかさ」と呼ぶようになったとか。傘が開閉できるのは今日ではあたり前に考えられていますが、実は非常にシンプルでいながら高度な技術を持った現在でも驚くべき構造なのです。数ある工芸品の中でも和傘ほど、各パーツが複雑に変化する仕組みを持っているものは、そう多くはありません。

和傘の骨は1本の竹を均等に割り、割ったおりの順番に組み立てるので、閉じたシルエットがたかも元の1本の竹のようにきれいに閉じるのです。和傘は頭を常に上にして使い、持ち歩く際も頭が上です。洋傘は傘の先端を下にして持ち歩くので、そこは大きな相違点でしょう。



資料提供: 日吉屋 <http://www.wagasa.com/>

PRESENT プレゼント

●応募締切
2010年6月30日(水)

今後「なるほど!ザ・インフォ」で取り上げてほしいテーマや人物、本誌に対する質問やご意見を大募集!応募していただいた方の中から抽選で下記の商品をプレゼント。官製ハガキに〒・住所・氏名・年齢・誌面に対するご意見を明記のうえ、下記宛先までお送りください。

〒105-0012 東京都港区芝大門1-10-11 芝大門センタービル 7F
株式会社星和ビジネスサポート

「なるほど!ザ・インフォ6月/和傘号プレゼント係」

※ご記入いただいた情報は、「株」星和ビジネスサポートで適切に管理いたします。これらは当プレゼント運営および誌面編集の参考にする以外には使用いたしません。

軽量コンパクト傘。



カバンにすっぽり
納まる洋傘です。

2名様
に
プレゼント

愛する人のために 日本生命

「日本生命」は、愛する人のために、さまざまなサービスを提供しています。お申し込みは、お近くの日本生命の営業所までお問い合わせください。

〒105-8580 東京都港区新橋3-1-1 日本生命

【お届けいたしましたのは】



NISSAY

生22-H-896、業務総務G